

野々市市第二次総合計画後期基本計画策定に係る基礎資料

野々市市第二次総合計画進捗評価報告書

令和 8 年 6 月

野々市市

【目次】

1	野々市市第二次総合計画の検証.....	1
	（1）進捗評価の概要	1
2	評価結果	2
	（1）全体評価	2
	（2）施策の評価.....	4
3	野々市市第二次総合計画の検証結果のまとめ	8

1 野々市市第二次総合計画の検証

(1) 進捗評価の概要

①評価の目的

本評価は、野々市市第二次総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」といいます。）を策定するに当たり、野々市市第二次総合計画前期基本計画（以下「前期基本計画」といいます。）の進捗状況を明らかにすることで、後期基本計画策定の基礎資料とし、今後の行政運営に活かしていくことを目的として実施しました。

②評価の方法

令和8（2026）年度の目標値に対し、令和7（2025）年度の達成度について、

- ・達成（100%以上）（A 評価）
- ・概ね達成（99～75%）（B 評価）
- ・一部達成（74～50%）（C 評価）
- ・要改善（49～0%）（D 評価）

で評価しました。

また、評価を数量的に把握することを目的とし、「評価点」を算出・点数化しました。

この評価点は、例えば、1つの施策に対し、2つの成果指標が設けられていた場合、その2つの成果指標の評価が「A」と「B」なら、それは100点進捗と75点進捗となり、これにより構成される「戦略目標」としては平均87.5点進捗（＝（100＋75）÷2）と判断することができます。

A：100点
B：75点
C：50点
D：0点

なお、令和8（2026）年6月18日時点で成果指標が確定していない施策等は含めてはいません。

2 評価結果

(1) 全体評価

基本目標1 だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち
--

評価点

58点／100点

基本目標2 心のかよう福祉のまち

評価点

72点／100点

基本目標3 みんなで取り組む安全・安心なまち

評価点

78点／100点

基本目標4 環境を考え、みんなで行動するまち

評価点

80点／100点

基本目標5 あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち

評価点

75点／100点

基本目標6 みんなが働きたくなる、活気のあるまち

評価点

93点／100点

基本目標7 くらし充実 快適がゆきとどくまち

評価点

84点／100点

基本目標8 多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち
--

評価点

85点／100点

基本目標	達成度 (4段階評価)				達成度 評価点
	A	B	C	D	
1 だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち	1	5	1	2	58 点
2 心のかよう福祉のまち	3	4	1	1	72 点
3 みんなで取り組む安全・安心なまち	5	2	1	1	78 点
4 環境を考え、みんなで行動するまち	4	0	0	1	80 点
5 あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち	3	8	3	0	75 点
6 みんなが働きたくなる、活気のあるまち	8	3	0	0	93 点
7 くらし充実 快適がゆきとどくまち	6	1	0	1	84 点
8 多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち	3	1	1	0	85 点
総合計画 全体	33	24	7	6	78 点

達成度評価点

1 だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち	58点
2 心のかよう福祉のまち	72点
3 みんなで取り組む安全・安心なまち	78点
4 環境を考え、みんなで行動するまち	80点
5 あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち	75点
6 みんなが働きたくなる、活気のあるまち	93点
7 くらし充実 快適がゆきとどくまち	84点
8 多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち	85点
総合計画 全体	78点

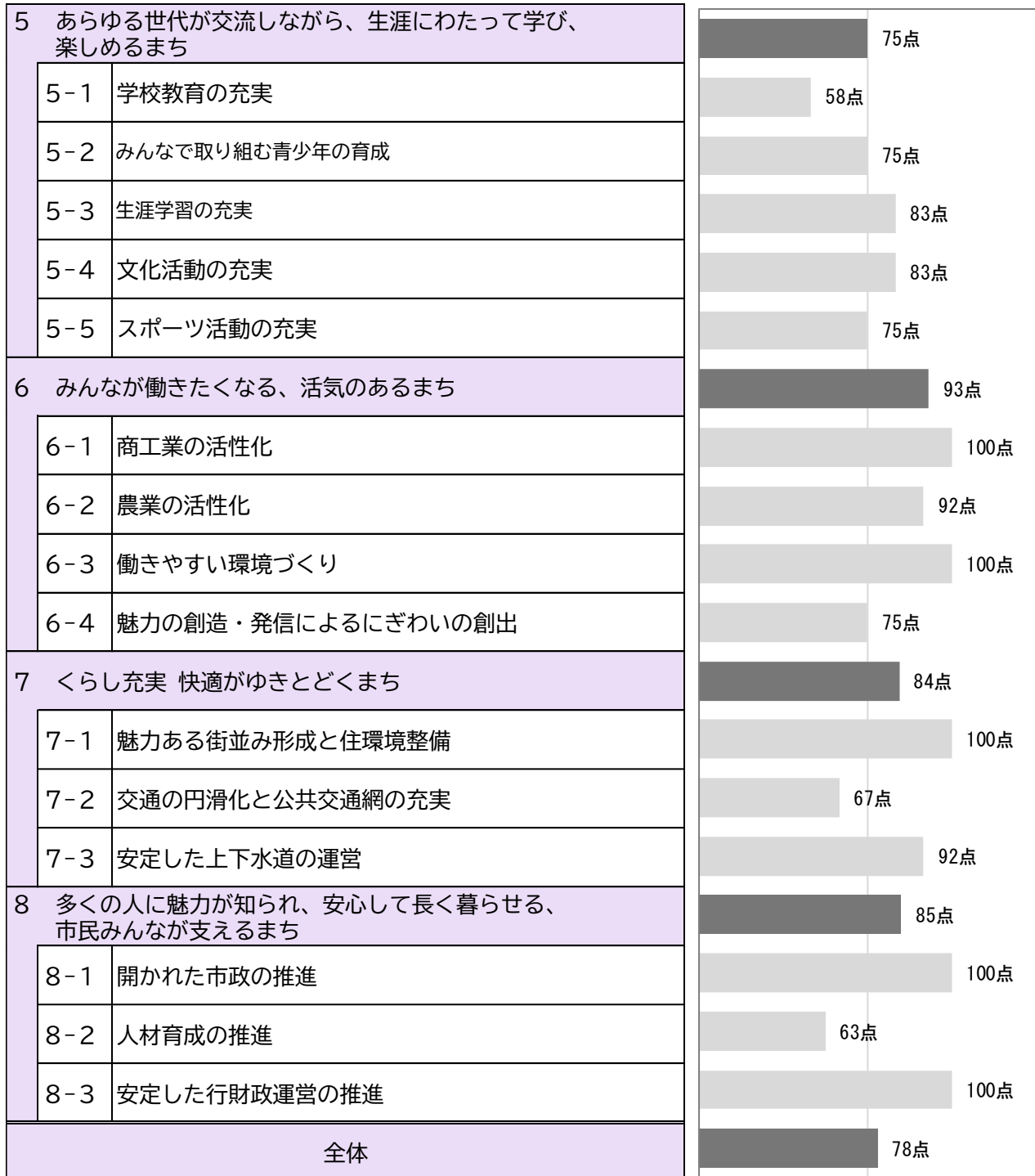
(2) 施策の評価

基本目標/施策		達成度 (4段階評価)				達成度 評価点
		A	B	C	D	
1	だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち	1	5	1	2	58 点
1-1	共に考え共につくるまちづくり	0	2	1	0	67 点
1-2	ふるさと意識の醸成と愛着心の向上	1	2	0	0	83 点
1-3	多文化共生と国際交流の充実	0	0	0	2	0 点
1-4	思いやりのまちづくり	0	1	0	0	75 点
2	心のかよう福祉のまち	3	4	1	1	72 点
2-1	地域共生社会の構築	1	1	0	0	88 点
2-2	健康づくりの推進	0	1	1	1	42 点
2-3	支援が必要な人への福祉の推進	1	0	0	0	100 点
2-4	子育て支援の推進	1	1	0	0	88 点
2-5	感染症対策の推進	0	1	0	0	75 点
3	みんなで取り組む安全・安心なまち	5	2	1	1	78 点
3-1	防災対策の充実	1	0	0	1	50 点
3-2	消防と救急体制の充実	0	1	1	0	63 点
3-3	交通安全対策の強化	2	0	0	0	100 点
3-4	防犯対策・消費者安全の強化	2	1	0	0	92 点
4	環境を考え、みんなで行動するまち	4	0	0	1	80 点
4-1	環境負荷の少ない社会の構築	2	0	0	0	100 点
4-2	自然環境と生活環境の保全	0	0	0	1	0 点
4-3	循環型社会の形成	2	0	0	0	100 点

基本目標/施策		達成度 (4段階評価)				達成度 評価点
		A	B	C	D	
5	あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、 楽しめるまち	3	8	3	0	75 点
5-1	学校教育の充実	0	1	2	0	58 点
5-2	みんなで取り組む青少年の育成	1	1	1	0	75 点
5-3	生涯学習の充実	1	2	0	0	83 点
5-4	文化活動の充実	1	2	0	0	83 点
5-5	スポーツ活動の充実	0	2	0	0	75 点
6	みんなが働きたくなる、活気のあるまち	8	3	0	0	93 点
6-1	商工業の活性化	4	0	0	0	100 点
6-2	農業の活性化	2	1	0	0	92 点
6-3	働きやすい環境づくり	2	0	0	0	100 点
6-4	魅力の創造・発信によるにぎわいの創出	0	2	0	0	75 点
7	くらし充実 快適がゆきとどくまち	6	1	0	1	84 点
7-1	魅力ある街並み形成と住環境整備	2	0	0	0	100 点
7-2	交通の円滑化と公共交通網の充実	2	0	0	1	67 点
7-3	安定した上下水道の運営	2	1	0	0	92 点
8	多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、 市民みんなが支えるまち	3	1	1	0	85 点
8-1	開かれた市政の推進	1	0	0	0	100 点
8-2	人材育成の推進	0	1	1	0	63 点
8-3	安定した行財政運営の推進	2	0	0	0	100 点
全体		33	24	7	6	78 点

達成度評価点

1 だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち		58点
1-1	共に考え共につくるまちづくり	67点
1-2	ふるさと意識の醸成と愛着心の向上	83点
1-3	多文化共生と国際交流の充実	0点
1-4	思いやりのまちづくり	75点
2 心のかよう福祉のまち		72点
2-1	地域共生社会の構築	88点
2-2	健康づくりの推進	42点
2-3	支援が必要な人への福祉の推進	100点
2-4	子育て支援の推進	88点
2-5	感染症対策の推進	75点
3 みんなで取り組む安全・安心なまち		78点
3-1	防災対策の充実	50点
3-2	消防と救急体制の充実	63点
3-3	交通安全対策の強化	100点
3-4	防犯対策・消費者安全の強化	92点
4 環境を考え、みんなで行動するまち		80点
4-1	環境負荷の少ない社会の構築	100点
4-2	自然環境と生活環境の保全	0点
4-3	循環型社会の形成	100点



3 野々市市第二次総合計画の検証結果のまとめ

総合計画全体の評価点は78点であり、一定の進捗がみられる一方、基本目標1「だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち」、基本目標2「心のかよう福祉のまち」及び基本目標5「あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち」については、全体の評価点を下回る結果となりました。

基本目標1については、市民活動団体や町内会への支援、大学・企業との連携等を通じて、市民協働の基盤づくりや地域交流の促進に成果がみられました。また、深圳小学との交流や日本語教室、国際交流員の派遣により、国際理解や多文化共生の意識醸成も進みました。

今後は、若者を継続的なまちづくり活動につなげる仕組みづくりや、幅広い市民が地域課題に関心を持ち、参加しやすい環境づくりが求められます。併せて、外国人住民の困りごとを把握し、誰もが安心して暮らせる地域づくりや、姉妹都市等との交流継続を進める必要があります。

基本目標2については、健康診査やがん検診、保健指導を継続して実施し、生活習慣病の発症予防や重症化予防、フレイル予防・介護予防に取り組み、一定の成果が得られました。また、金沢広域急病センターの共同運営により夜間の医療体制を確保するとともに、感染症対策や予防接種に関する情報発信や各種の助成により、正しい知識の普及と接種機会の確保が図られました。

今後は、地元医師会や関係自治体と連携し、適切な医療を受けられる環境を維持するとともに、各種健診の受診率向上、地域ぐるみの健康づくり及び介護予防をより一層進める必要があります。また、感染症の予防・拡大防止に向けた情報提供や予防接種の推進、関係機関との連携強化が必要です。

基本目標5については、タブレット端末や授業支援システムの活用により、ICTを活用した学習環境の充実を図るとともに、ALTの配置、採点支援システムの導入及び教職員研修等を通じて、英語教育や教員の業務改善、指導力向上に取り組み、一定の成果が得られました。また、食育や体力向上、地域人材・学習支援ボランティアの活用、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の推進により、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育む環境づくりを進めることに加え、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりにおいても一定の成果が得られました。

今後は、児童生徒が社会を生き抜く力を身につけられるよう、知・徳・体のバランスのとれた学びや、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る必要があります。また、ICT活用の質の向上、学校施設の長寿命化、地域人材やボランティアの確保及び家庭教育支援の充実を進める必要があります。

以上より、本市では、各分野で制度や環境の整備に一定の成果がみられます。今後は、多様な主体が継続的に公的な取組に参画し、整備した基盤を実効性ある取組へとより一層発展させていくことが必要です。

野々市市第二次総合計画進捗評価報告書

発行日／令和8年6月

発行／野々市市
